



かけこう通信

令和7年度 第9号
令和8年1月16日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校発行(文責:小川)

☆あけましておめでとうございます。本年も変わらずご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

OVERDRIVE ～掛高祭(文化祭)～

11月7日(金)・8日(土)の2日間、掛高祭(文化祭)を行いました。
その目的は、

- 各種企画を通じて、クラス・部活動・委員会での親睦を深め、協働して一つのものを作り上げる力を高める。
- 普段目にするものがない、芸術系授業や文科系部活動の成果の発表の場とする。
- 地域への学校開放の機会とし、学校への理解を深めてもらう。

の3点でした。生徒会では「OVERDRIVE ～限界突破のHappiness 全員集合でブチ上げろ～」をテーマに、事前の企画立案から当日の運営まで、中心となって進めてきました。また、生徒たちは一人でも何役もこなしました。準備に一生懸命取り組み、当日も何とかお客さんを楽しませよう、盛り上げようと取り組んだ結果、大きなトラブルもなく、無事終わることができました。

1日目は終日講堂にて過ごし、午前中はそれぞれの学年が研究発表を行いました。保護者や地域の皆様にも多数ご来校いただき、生徒たちの活躍ぶりを見ていただきました。どの学年も各班の内容が充実し、それぞれが持ち味を存分に発揮した、素晴らしい発表ばかりでした。2日目のクラス企画も通して芽生えた絆を武器に、これからの学校生活も頑張っていってほしいと思います。

○生徒研究発表

- 1年「探究学習中間発表」
- 2年「雲南市のお米を応援するプロジェクト2025」
- 3年「地域創造発表」

○クラス企画

- 1年「忘れられた教室」
- 2年「コスプレ喫茶」
- 3年「縁日」



また、1日目午後にあった3人のビブリオバトルでの戦いぶり、1年生全員による掛合太鼓演奏の息の合わせ方も見事でした。2日目の委員会・部活動等の展示・販売等も様々な工夫が見られました。ステージ企画も参加者たちは楽しめ、盛り上がりました。生徒一人ひとりの活躍をたくさん見ることができました。

2日目はまた、生徒による企画・展示以外にも、校舎内外のいたるところで、PTAや宇山営農組合、キッチンカー、パン業者等による販売活動もさかんに、保護者や卒業生、旧職員、地域の皆様ほか多数ご来校いただき、にぎやかに過ごせました。おかげさまで生徒たち・教職員のすてきな笑顔や生き生きとした表情をたくさん見ることができました。参加した皆さん、楽しませていただきありがとうございました。お疲れさまでした。

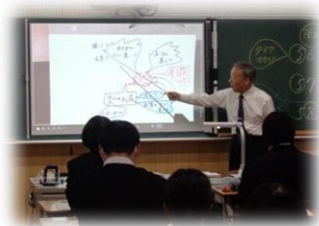
まさに、学園歌一番にある歌詞「♪文化の花園 はぐくむところ」すなわち「カケコーの文化」が今年も花開きました。

2日間で全校生徒数を上回る延べ151名のご来校がありました。たいへん感謝しております。これからも引き続きカケコーをよろしくお願いいたします。



図式名人を目指す ～1年生要約学習～

12月8日(月)2・3限に、1年生が要約学習に取り組みました。これは飯南町教育委員の烏田勝信先生を講師にお招きし、令和3年度から毎年1回程度継続的に取り組む授業です。



この講義・演習を通して、

(1)文章を読んだり、人の話を聞いたりする際に、その内容を構造化して捉える力

(学習内容の構造的な理解、調べ学習・探究学習等における資料まとめ等に資するため)

(2)自分の考えを構造化し、その内容を文章にまとめたり、スピーチ（プレゼン）したりする力

(進学・就職に向けたキャリア学習、調べ学習・探究学習等における発表等に資するため)

の2つの力を養うことを目的としています。1年生には、「要約学習」に取り組むその目的や意義について説明いただき、そのうえで、

① 文章の読解とその内容の図式化・相互プレゼン

② 指導者のプレゼン聴取とその内容の図式化・相互プレゼン

③ 与えられた課題に対して、自分の考えの図式化・相互プレゼン

等の講義・演習を行っていただきました。

タイムキープしながらの計画的な授業展開に、生徒たちははじめなかなか要領を得ませんでしたが、次々提示されるお題（地震、ダイアオオカミ、火事場の馬鹿力、隕石、トカゲ、サルのお尻、風邪、卵など）に向き合いながら、他者と繰り返すプレゼンの積み重ねにもより、次第に楽しみ、“図式名人”へ進化していきました。最後には「この授業で得られた“図式力”を日頃の学習や生活に生かして欲しい」と烏田先生からメッセージをいただきました。

1年生は1月末に探究学習の最終発表会を予定していますが、この経験をもとに まとめ・発表 へと向かいます。



第2回学校運営協議会を行いました

当日の議事録は [こちら](#) →



12月18日（木）14：30から掛合分校音楽室にて、令和7年度第2回学校運営協議会を行いました。今年度のこれまでの取組について評価やご質問等を、意見交換では学校運営に関すること、教職員の人事要望に関することなど貴重なご意見をたくさんいただき、たいへん有意義な時間を過ごすことができました。

第3回は2月を予定しております。委員の皆様には引き続きお世話になりますが、よろしくお願いします。

2年生雲南市役所訪問 ～パックご飯贈呈式・市農業委員会報告～

12月23日（火）午後に、2年生代表5名が雲南市役所を訪問しました。これは2年生が取り組む「雲南市のお米を応援するプロジェクト2025」に関するものです。

掛高では、令和4年度から毎年2年生が取り組む地域をフィールドとした探究活動「うんなんのお米を応援するプロジェクト」との連関を期待し、昨年度に引き続き、今年度も台湾での雲南市産米の販売機会を得ることができました。とりわけ雲南市役所、また雲南市PR大使も務めていらっしゃる林 定三様（鼎三国際企業有限公司顧問）、その関係の皆様から多大なご支援をいただきました。



2年生は11月16日（日）から19日（水）まで台湾研修へ出かけましたが、林様にはこれがお縁で、このたびパックご飯を贈呈いただきました。当日は市教育委員会教育長の小田川 徹哉様から頂戴しました。小田川教育長様から生徒たちへ旅行の感想を尋ねられ、現地での様子や食事、文化等の気づき等をご報告しました。

その後、雲南市農業委員会総会にて、お米づくりを通じた学習活動の取組を紹介する機会をいただきました。18名の委員の皆さまを前に、この1年間に取り組んだプロジェクト（田植え・稲刈り・米販売）についてスライドを交えて、およそ30分間発表しました。生徒たちの

取組を市の農業振興の視点から捉え、販売したお米について、日本米と台湾米の違いについて、掛合太鼓と組み合わせた販売に取り組んでは？

など、様々な質問や感想をいただきました。また、「雲南市のPRとお米の販売促進につなげてもらってうれしい」とのお言葉も頂戴しました。

これら一連のプロジェクトにおける経験を、雲南市の皆さまに直接お伝えすることができ、生徒たちはそれぞれが持つ可能性をさらに広げる機会となりました。

